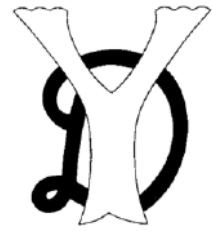


横浜市立

ろう特別支援学校



令和6年度学校便り No. 1

ホームページ : <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/ss/ro/>

「自分とお友だちを大切に」

校長 定岡 孝治

令和6年4月1日に学校長として、着任しました定岡 孝治と申します。

本校は、大正15年3月横浜第五隣保館内に私立横浜聾話学院として創立されました。その後、昭和2年4月横浜市に移管されたあと、昭和8年3月横浜市立聾話学校、昭和24年4月横浜市立聾学校と改称されました。それから、校舎の移転や、戦時中の学童疎開等環境の大きな変化を乗り越えてきました。

平成19年4月特殊教育から特別支援教育へと学校教育法の一部改正にともない、横浜市立ろう特別支援学校に校名が変更され、本年度で創立98年となります。この輝かしい歴史と伝統を継承しながら、今後も本校の教育活動を推進してまいります。どうぞよろしくお願いたします。

今年度、入学した子どもたちへ、式辞としてお祝いのことばとあわせて、次のようなことばを添えました。「自分とお友だちを大切にすることを心がけてください。」これは、自分のことばと行動に責任をもちながら、相手の立場に立って考えるということです。

今から、2600年ほど前の中国の孔子という人の言葉を集めた本の中に、「己の欲せざるところを、人にほどこすことなかれ」という言葉があります。これは、自分が嫌だなと思ったことを他人にやってはいけないという意味です。2600年の時が流れていても、現代社会にもつながるものがあります。どのような時代が来ようとも、人を大切にすることや、人とのつながり、人への思いやりを忘れてはいけません。学校生活の中で、人を大切にすることを養いながら、一生にわたって続く本当のお友だちを発見してほしいと思います。今後も自分とお友だちを大切にしながら、充実した生活となるよう願っています。

現代の社会は、様々な問題を抱え、学校教育にも困難な課題が数多くあります。学校と家庭、地域、関係諸機関が連携を強くもちながら、これらの課題に対峙しお子様の成長につなげていければと思っています。

各部のお便りから

— 各学部を取組を、学部便りやクラス便り等からピックアップしてご紹介します —

乳幼児教育相談

桜の花の時期も終わり、少しずつ暖かい日も多くなってきていますね。春の風や花の香り、土のにおい、葉っぱの手触りなど、五感を使って今の季節を楽しみましょう。外で遊ぶのにもよい季節となりました。いつもの景色を見ながらお散歩するのもいいかもしれませんね。

お子さんがどのような表情で、どんなことを感じている様子だったかなど「日々の記録」に書いてください。楽しみにしています！今年度は、2歳児4名、1歳児7名、0歳児0名の11名でスタートします。

どうぞ、よろしくお願いいたします。

(「4月のおたより」より引用)

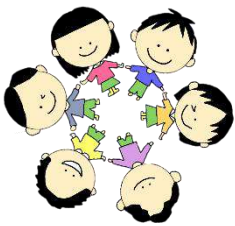
幼稚部

幼稚部ご入学おめでとうございます。1年ひよこ組は保護者のみなさまと一緒に、幼稚部全体でお子さんの成長を支えていきます。1年間どうぞよろしくお願いいたします。さて、いよいよ幼稚部での生活が始まります。4月はお子さんにとっても、保護者の皆様にとっても、新しい環境への変化に戸惑うことが多くあるかと思います。まずは、体調に気を付けて元気に登校してほしいと思っています。かわいいお子さんに会えるのを毎日楽しみにしています。



(「つくしつうしん」より引用)

小学部



月曜日の入学式は緊張した表情でしたが、少しずつ様々な表情を見せてくれるようになってきました。10日は、「おはなみかい」で桜美林公園に行ってきました。他学年の友達と鬼ごっこをしたり、ゆずりあいながらブランコで遊んだり、楽しく活動することができました。

(「どーなつ」より引用)

通級指導教室

「難聴・言語障害通級指導教室」とは・・・

横浜市内には、ろう特別支援学校の他に、難聴・言語指導教室が小学校11校(2校は言語のみ)、中学校4校(2校は言語のみ)に設置されています。ろう特別支援学校通級指導教室には、難聴・言語ともに設置されていて、現在市内の全域から小学生43名・中学生59名・高校生1名が通級しています。

普段は在籍校で学び、週1回または月1~2回程度、通級指導教室に通い聴覚や言語に関する個々の課題に取り組んでいます。

(「たけのこ」より引用)

中学部

「新しい一年が始まりました」

入学・進級おめでとうございます。新しい一年が始まりました。今年度は4名の1年生を中学部に迎え、16名の生徒と16名の教員で令和6年度の活動が始まります。中学部では、今年も「あいさつ・返事・礼儀・ルール」4つの目標を大切に、心身共にたくましく、自分の力を発揮できるよう支援していきます。

そして、部活動や委員会活動・行事を通して「仲間の和」を大切に、人を思いやる気持ちと自信を育てていきたいと思えます。今年度も中学部の活動にご理解ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



(「学部だより」から引用)

高等部

～ 自己表現の大切さ ～

新入生のみなさん、入学おめでとうございます。2年生、3年生のみなさん、進級おめでとうございます。高等部主事です。よろしくお願いいたします。

今から話すことは、「はだ色」という言葉についてです。「はだ色」という言葉を知っていますか。実は、色鉛筆やクレヨン、絵具などで「はだ色」という言葉が使われなくなっています。「ベージュ」「うすだいたい」「コーラルピンク」という言い方に変えています。それは何故でしょうか。さらに補足するとすれば、交通機関や情報が発達し、様々な国の人たちが国内で暮らすようになったことと関係しています。国際化が進んでいることですね。さて、「国際化」と「はだ色という言葉が使われなくなった理由」について気付いた人は流石です。

人種差別に対する問題意識や配慮によって使われなくなったのです。人種・個人差・日焼けの度合いによって肌の色は異なるのに、特定の色を肌色(英語でフレッシュ(fresh)／新鮮・生き生き・さわやか)と想定するのはおかしいのではないかと、ということで「はだ色」という名称を避けられるようになりました。

みなさんに考えていただきたいことは、『世の中の変化』と『言葉』です。世の中は常に変化しています。変化していく社会の中で、きこえない当事者として、どのように関わっていくのか学び、考えていくことが大切です。1960年代の話になりますが、クラクション音がきこえないことを理由に、聴覚障害者に対して車の運転免許の取得が認められていませんでした。現在は、条件を満たすことで運転免許がとれるようになり、ドライブを楽しむ聴覚障害者が増えています。また、ローンを組めるようになり、手話通訳の派遣制度ができたりするなど、きこえない人を取り巻く社会の変化がありました。そうした過去の出来事や経緯について学ぶための授業の1つとして、自立活動があります。社会の変化があった理由は、きこえない当事者による「言葉」があったからです。自分の思いや考えを「言葉」として伝えてみてください。また、他の人の「言葉」を聞いてみてください。高等部を卒業したら、選択と自己決定の連続です。自分の気持ちを言葉にする力がより重要になってきます。

みなさん一人ひとりが前向きに考え、様々な発見や出会いを楽しむ、そのような高校生活を送れることを願っています。

(「学部だより」から引用)

		5月の行事	PTA 関係
1	水	通級開始式(小) (幼) 運動会練習 (中) 水早下校	
2	木	(幼) 交流	
3	金	憲法記念日	
4	土	みどりの日	
5	日	こどもの日	
6	月	振替休日	
7	火		
8	水	(幼) 運動会練習 (中) 視力検査	
9	木	時間割変更 (幼) 交流(参観) (高) 視力検査	
10	金	尿検査一次 (高) 結核検診	
11	土	土曜参観	
12	日		
13	月	5/11(土)の振替休業日	
14	火	避難訓練(火災) 小中高連絡会	
15	水	(幼) 身体計測・運動会練習	
16	木	眼科検診 (幼) 保護者講座	
17	金	避難訓練(火災) 予備日	
18	土		
19	日		
20	月	(小低) 視力検査 (幼) 誕生会・運動会練習	
21	火		PTA 運営委員会
22	水	時間割変更 (幼) 運動会予行 (小高) 視力検査	
23	木	時間割変更 (幼) 交流	市P連特支部会理事会 県聾P総会
24	金	尿検査二次 弘済会コンサート	
25	土	(幼) 運動会 (高) 大学共通テスト模試	
26	日	全経簿記検定	
27	月	(幼) 5/25(土)の振替休業日 教育実習(5/27~6/21)	
28	火	臨床相談 教育相談 (幼) 3年お泊り説明会 (中) 前期中間試験	
29	水	(幼) 視力検査 (中) 水早下校	
30	木	(通) 保護者懇談会 (幼) 交流	
31	金	(幼) 保護者講座 (小) 運動会	

○令和6年度がスタートしました。今年度は新しく13名の教職員が本校に着任しました。

教職員が一丸となって取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

○学校納入金の入金期間は5月1日~15日です。お忘れなく手続きをお願いいたします。

【GW中の緊急連絡先です】

連休中に緊急連絡が必要になった場合は、できるだけ学校代表のアドレスにメールで連絡してください。

(ysyokoro@edu.city.yokohama.jp)

電話でのやりとりが必要な場合は、次の学校携帯をお願いします。(すぐに応答できないこともあります)

・大久保副校長 学校携帯1 090-8116-0445

・大杉副校長 学校携帯2 090-8116-0600 ※連休中のみ:5月6日(月)まで

【学校におけるセクシュアル・ハラスメント相談窓口をお知らせします】

校内担当者 <児童生徒指導担当>橘高 敏也 <養護教諭> 大場 聖衣子

※教育総合センターの一般教育相談も、セクシュアル・ハラスメント相談窓口として利用できます。

電話番号:624-9414 月~金 9:00~17:00(祝日・年末年始を除く)